

## 漢字かな交じり文を書く(21)

締切り 九月二十四日(必着)

バラの環つくろ  
 ポケットには花がいっぱい  
 しーいっ  
 しーすかに  
 ひっそり  
 おどまり  
 バラの花びら  
 落ちちゃうよ

奥村憲照先生書

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。

◎「漢字かな交じり文」は、実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。団体によっては、新和様とか新書芸、日本詩文書という呼称もあります。

◎今月は、イギリスに古くから伝承されてきた童謡が題材になっています。子供のあどけない動きや表情が、作品からも伝わってきます。皆さんもそれぞれのイメージで創作してみてください。

◎誰にでも読めて、言葉の感動をストレートに表現できる「漢字かな交じり文」の世界をお楽しみ下さい。

※出典 マザーグースの歌より

※落款(氏名)も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。(雅印のみも可)

## □作品の出し方

▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

銃

剣

枚

新

聞

紙

を

◎審査して常に思う事だが、氏名欄を案外粗雑に書く方を多く見受ける。氏名も作品の一部として審査に加える。丁寧に字典で調べ、本文に合わせた書体で書くよう努めるとよい。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

百万の銃剣よりも  
三枚の新聞紙を  
もつと恐れろ

おか だ りゅう ほう 書  
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

分

合

困

難

半

右あがりに

中心

中心

下に出す

長く

|   |   |   |
|---|---|---|
|   |   |   |
| 半 | 困 | 分 |
| 分 | 難 | か |
| に | は | ち |
| な |   | 合 |
| る |   | え |
|   |   | ば |
|   |   |   |

おお たに せい じょう 書  
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★分かち：（書体＝楷書）

イギリスのことわざ

困った問題が起きた時、心の通い合う人に話すことができれば、それだけでも気持ち楽になるものです。

ただそう思っているだけでも、当事者からは相手を気づかって、深刻な問題であるほど話しづらくなるものです。できれば聞く側から、小さな変化に気づいて声をかけられたら理想的でしょう。

◆10月課題予告（行書）

学びて然る後に  
足らざるを知る

礼記

★百万の（書体＝行書）

ナポレオン・ボナパルト（一七九〇～一八二一） フランス皇帝

大軍を動かす戦術においては誰にもまげず、兵卒を鼓舞する雄弁術を得意中の得意とする英雄ナポレオンは、スパイ作戦・心理作戦の恐ろしさをよく心得ていました。事前に敵・味方双方の戦意・準備の状況を把握し、また自分の功績を誇張して「ナポレオン伝説」を普及させるなどしたのです。

◆10月課題予告（楷書）

人々は善行よりは

むしろ過失を

よく記憶する

▼教範・書範＝行草または草書

▼師範＝行書

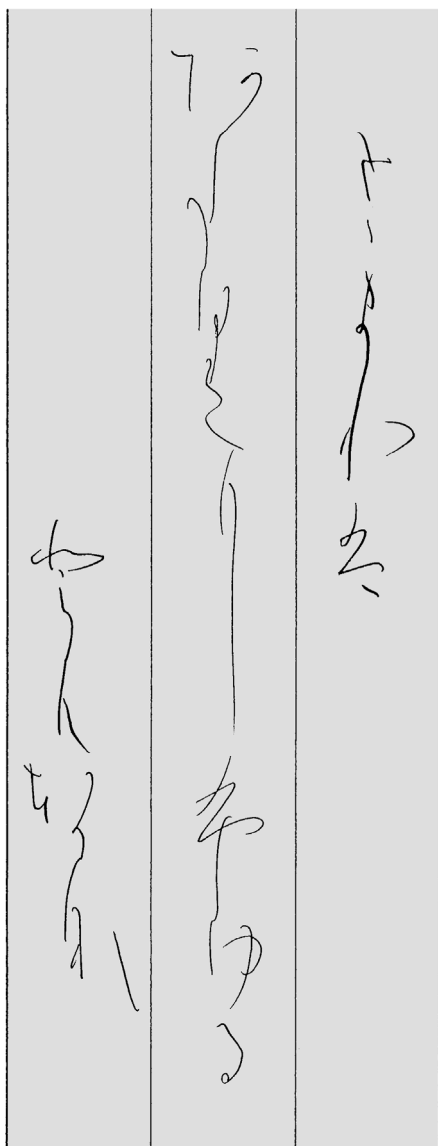
# 一般部かな課題

締切り 9月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

とどまればあたり<sup>盤</sup>にふゆる<sup>登</sup>蜻蛉<sup>本</sup>かな<sup>那</sup>

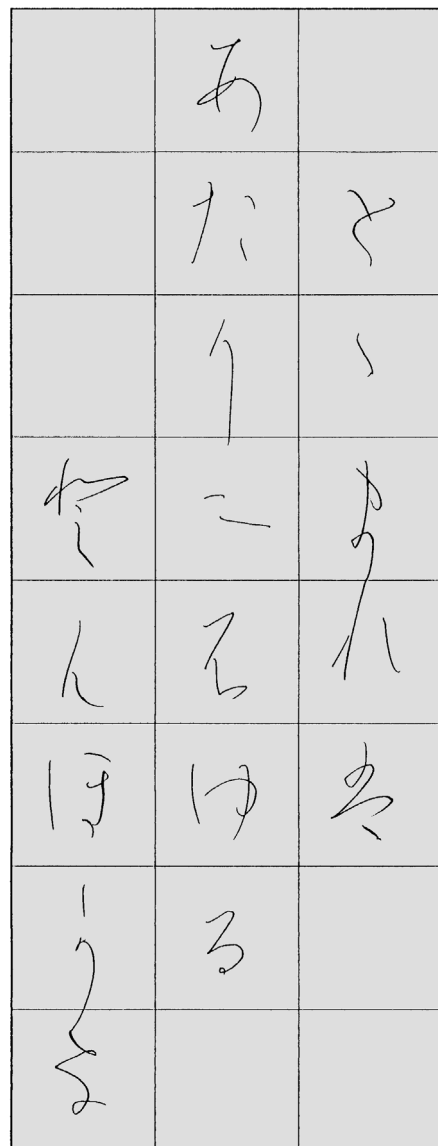


おお みや しゅん ちょう 書  
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

とどまればあたり<sup>盤</sup>にふゆる<sup>二不</sup>蜻蛉<sup>登</sup>かな<sup>可奈</sup>



おお みや しゅん ちょう 書  
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

## ◆10月課題予告

この道の富士<sup>みち</sup>になり行く<sup>ゆ</sup>芒<sup>すすき</sup>かな

(河東碧梧桐<sup>かわとうしき</sup>)

本<sup>ほ</sup> 登<sup>と</sup> 布<sup>ふ</sup> 耳<sup>みみ</sup> 盤<sup>は</sup>  
本 冬 布 耳 冬

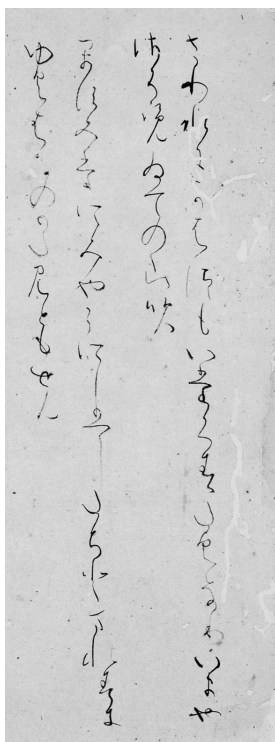
## 〔古筆参考〕

とどまればあたり<sup>とんぼ</sup>にふゆる<sup>なむらていじょ</sup>蜻蛉<sup>か</sup>かな  
〔句意〕秋色濃くなってきた名園に立ちどまって心ゆくまで、色づくあたりの景色を眺めていると、赤蜻蛉がにわかに数を増して、しきりに飛び交っていることである。

(中村汀女)

〔古筆参考〕

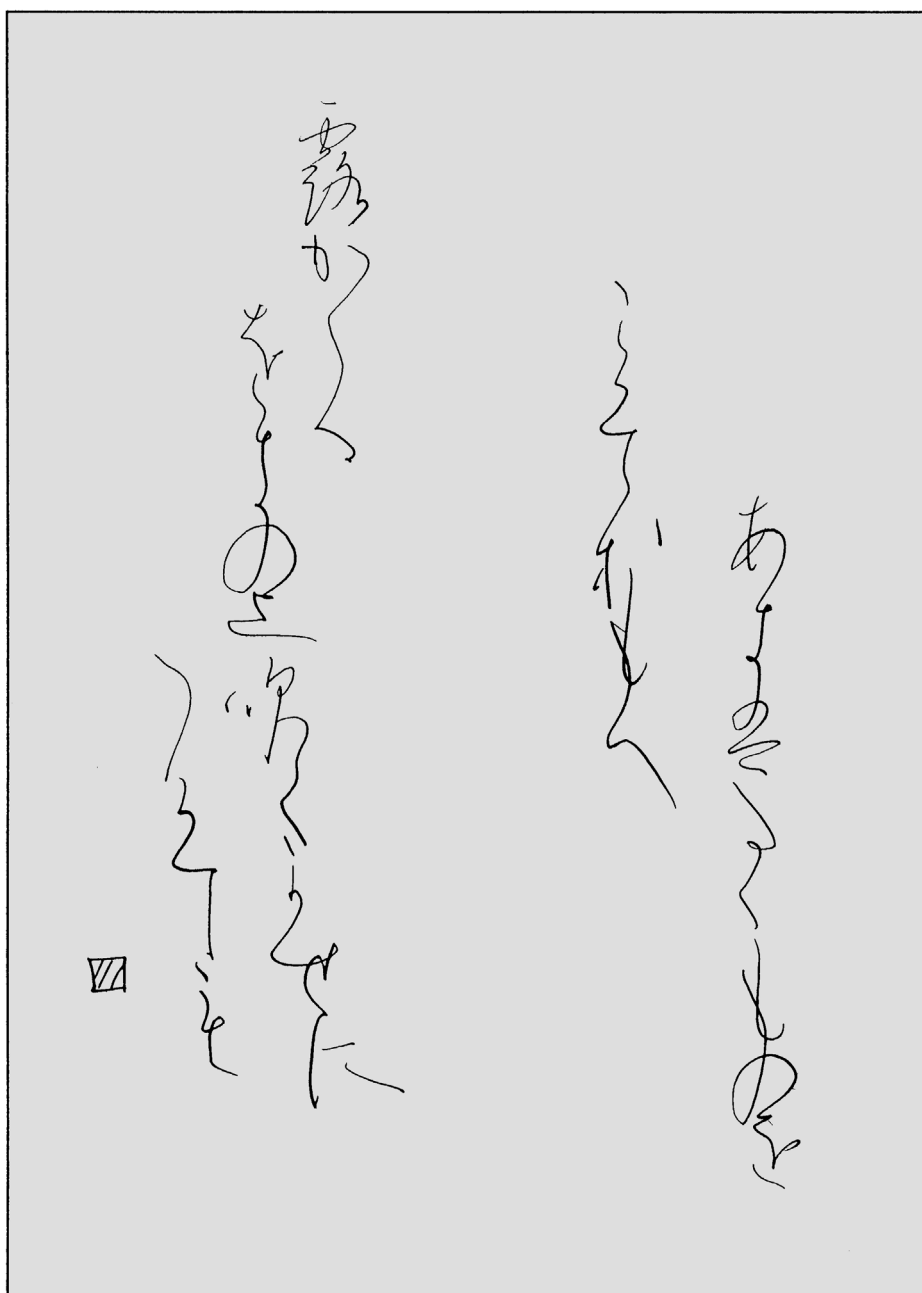
針 切



さわ水にかはづもいたくすだくなりいまや  
 佐覧あでの山吹  
 閑須堂  
 かすみだにみやこにしばしたちどまれすぎ  
 具者  
 ゆくはるのかたみとせん

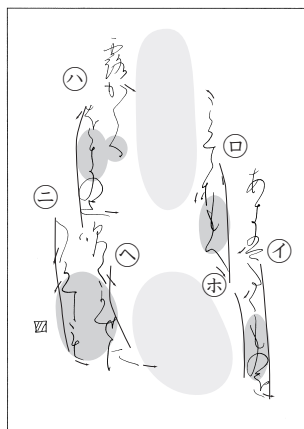
締切り 九月二十四日(必着)

築瀬舟香書



秋はただものをこそ思へ露かかる  
 萩の上吹く風につけても  
 源重之女  
 〔歌意〕秋はひたすら物思いに沈みます。露の置く萩の上を吹く風の音を聞くにつけても。  
 〔出典〕新古今和歌集  
 (新潮日本古典集成)

〔解説〕



①と②、①と③、④と⑤、⑥と⑦、⑧と⑨、  
 ⑩と⑪、それぞれ呼応。  
 ● 墨の動き注意。  
 ● 方向(指向性)注意。  
 ○ 大きな間(余白)大切。  
 針切の連綿(二)(余白)

八月号に中心移動連綿とは…と書きました。この技法は字と字を連綿するたびごとに中心が右へ移動していくことです。それがどの様な面構成を作り出すのか次号でお話ししましょう。  
 参考資料 同朋出版舎 針切

◆10月課題予告

月影のはつ秋風とふけゆけば  
 心つくしにものをこそ思へ

締切り 9月24日(必着)

今年も伊勢市のおかげ横丁にて  
「来る福招き猫まつり」が開催され  
ます。大好きな招き猫ちゃん達に  
囲まれて、一緒に幸せの時を過ごし  
ませんか。あの有名な赤福本店の  
抹茶セットも楽しみましょう。

◎手本は水性ボールペン使用

今年も伊勢市のおかげ横丁にて  
「来る福招き猫まつり」が開催され  
ます。大好きな招き猫ちゃん達に  
囲まれて、一緒に幸せの時を過ごし  
ませんか。あの有名な赤福本店の  
抹茶セットも楽しみましょう。

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。  
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか しま けい せん 書  
岡 嶋 桂 川

日本人は、神秘的な山や島に対し  
神の住む所のように敬意を払う。

青森県十和田市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 9月24日（必着）

新入から1級まで（楷書）

澤<sup>さわ</sup>  
静<sup>せい</sup>雨<sup>う</sup>書

秋雨虫聲<sup>おふ</sup>帶

〔読み〕秋雨虫の声を<sup>お</sup>帯ぶ  
〔大意〕降りつづく秋雨の中、多くの虫の音が秋の声をなす。

準初段から師範まで

奥<sup>おく</sup>  
村<sup>むら</sup>  
暢<sup>のぶ</sup>  
之<sup>ゆき</sup>  
臨

神奇<sup>し</sup>亦<sup>お</sup>其<sup>く</sup>

〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（649?～688?）  
〔読み〕神奇を（<sup>つ</sup>尽くさずとも、）<sup>み</sup>咸<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>亦<sup>そ</sup>た<sup>ふ</sup>其<sup>う</sup>の（<sup>く</sup>風味を）挹む。

神<sup>しん</sup>  
奇<sup>き</sup>  
咸<sup>かん</sup>  
亦<sup>また</sup>  
挹<sup>おさ</sup>  
其<sup>その</sup>

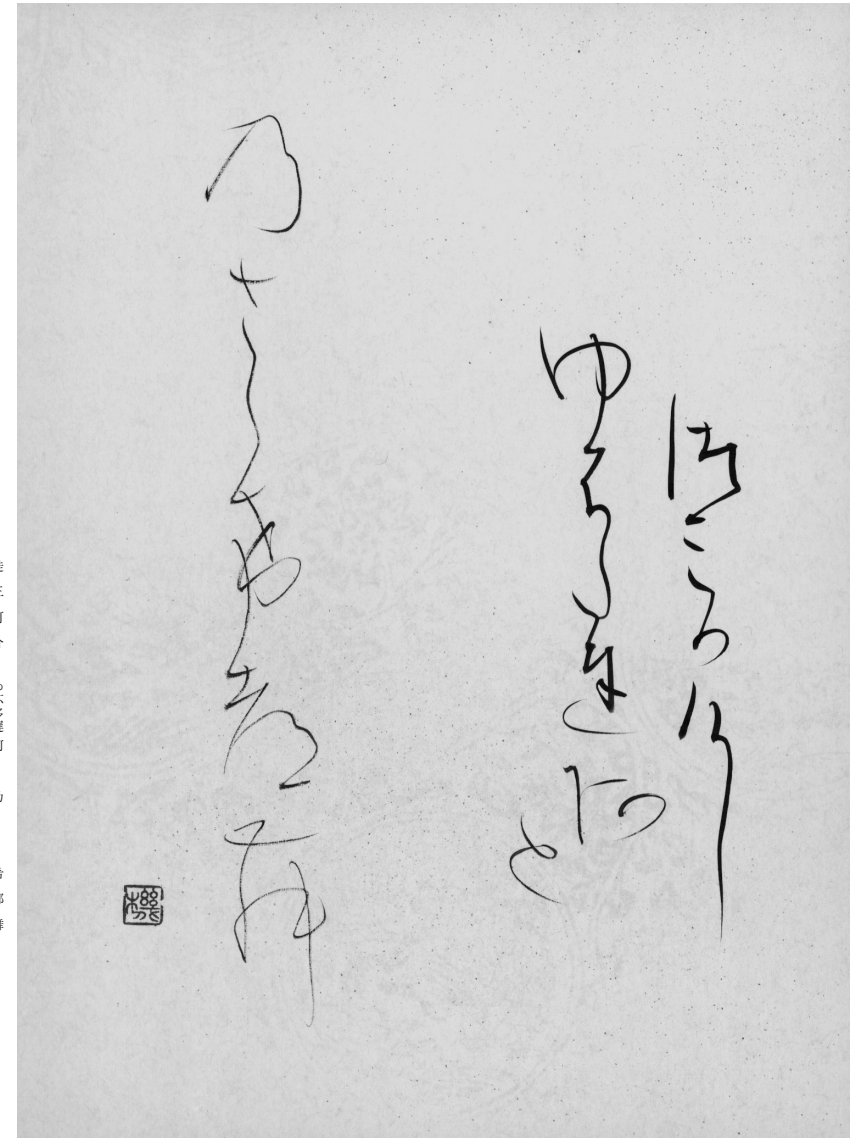


# 一般部毛筆かな課題

締切り 9月24日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

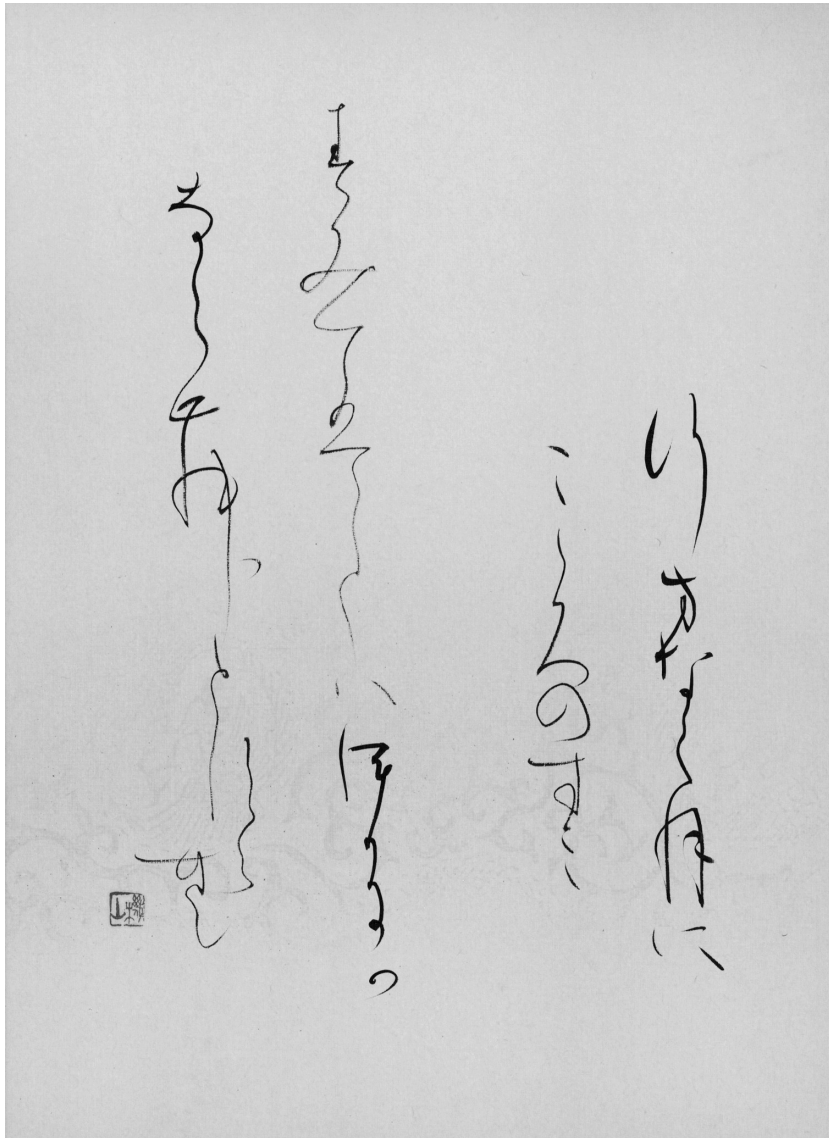


〔出典〕 鈴木花蓑

〔句意〕 夕立に洗われて一層つややかさをましたささげを、目に楽しみながら摘む景。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



〔出典〕 西行

〔歌意〕 月に対していると、心は行方も知られず澄みに澄んで、その果てはどうなろうとするのであろうか。

行方なく月に心の澄みすみて  
はてはいかにかならむとすらむ

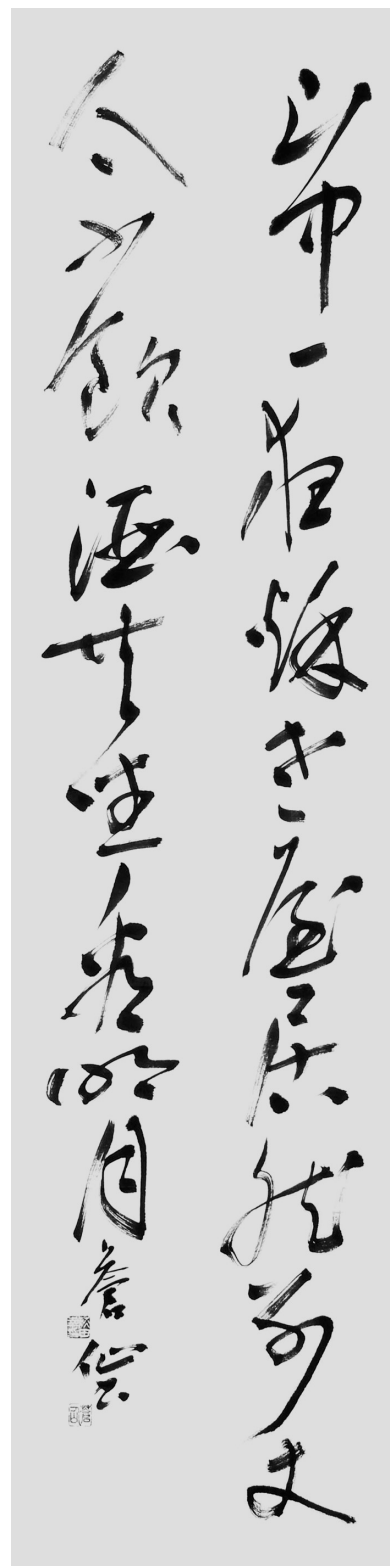
# 一般部毛筆細字課題

# 一般部毛筆条幅課題

締切り 九月二十四日（必着）

半切（一三六cm×三五cm）

荻田蒼仙書

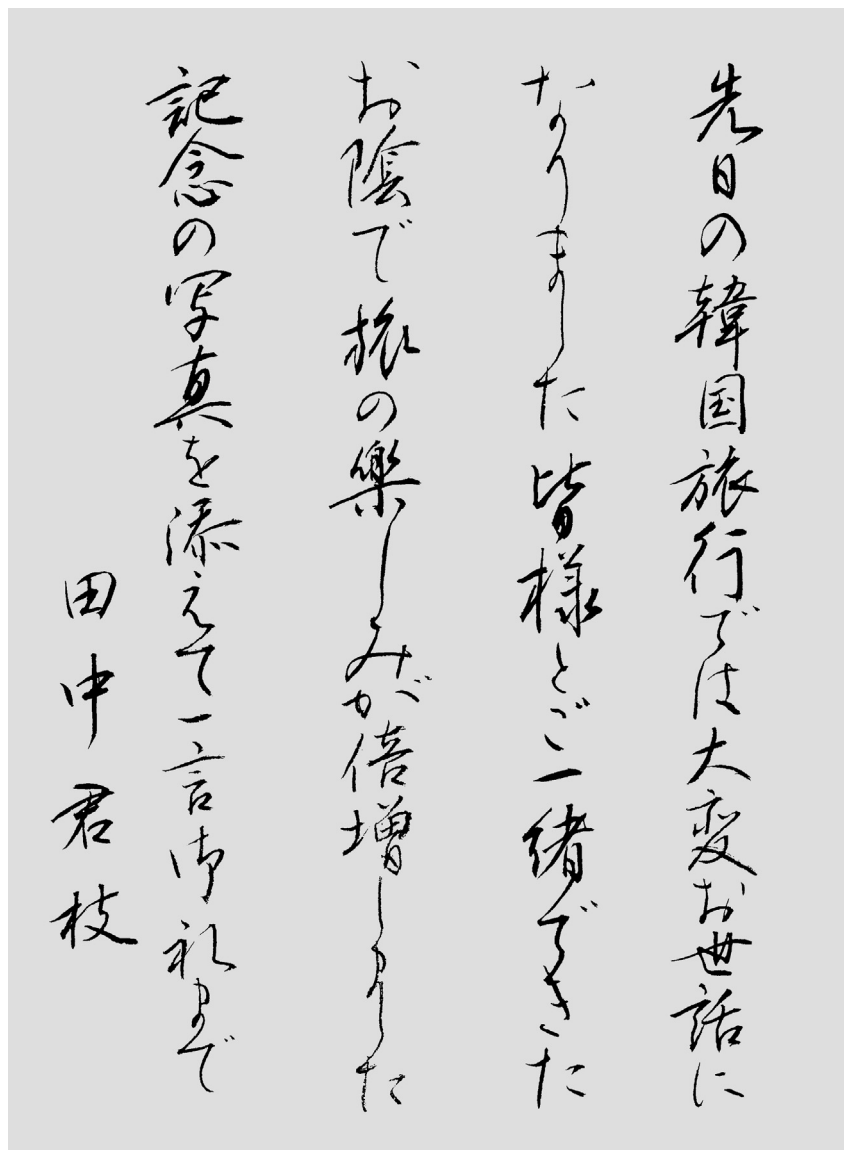


山中一夜秋 老屋居然別  
丈人不飲酒 共坐看明月  
〔大意〕秋の山中のあ  
ばら屋で何となく別れ  
たがなぜかその時二人  
とも酒を飲まずに、座っ  
て一緒に明月を眺めて  
いた。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

〔条幅解説〕今月は五言絶句（二十字）に挑戦してみま  
しょう。

イメージチェンジを図り、いろいろと回数と枚数を  
重ねました。そしてズラリと吊り下げて選びました。  
最後頃の作がよいと思っていたところ、過剰意識が目  
につき、中間頃に書いたのを選びました。形もさるこ  
とながら線を鍛えましょう。角度そして起筆の入り方  
が大切だと思います。

書 華 玲 田 樋



半紙（334mm×240mm）

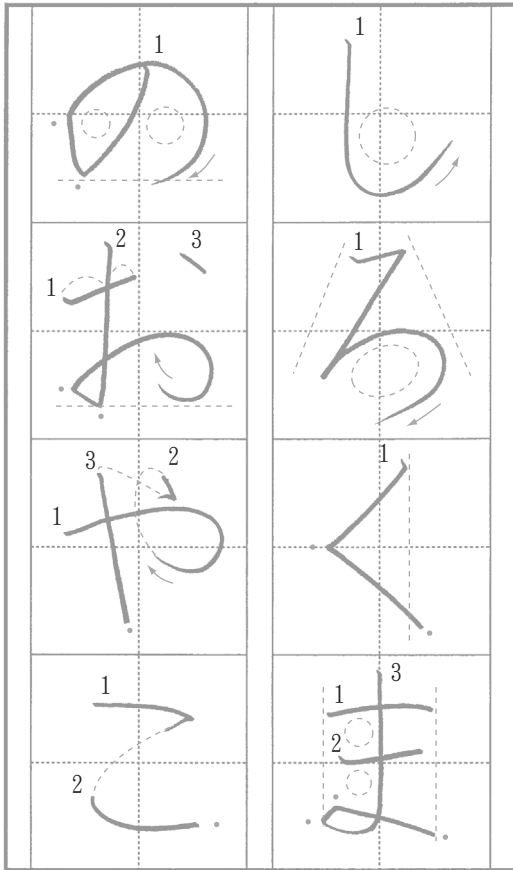
・先日の韓国旅行では大変お世話に  
なりました皆様と一緒でした  
・お陰で旅の楽しみが倍増しました  
・記念の写真を添えて一言御礼まで  
（ご自分の氏名）  
・印で墨つきしました。

〔お詫びと訂正〕

本誌八月号十一ページ、細字課題の執筆者について、  
「大宮春兆」先生と掲載されましたが、正しくは「樋田  
玲華」先生でした。深くお詫びし訂正いたします。

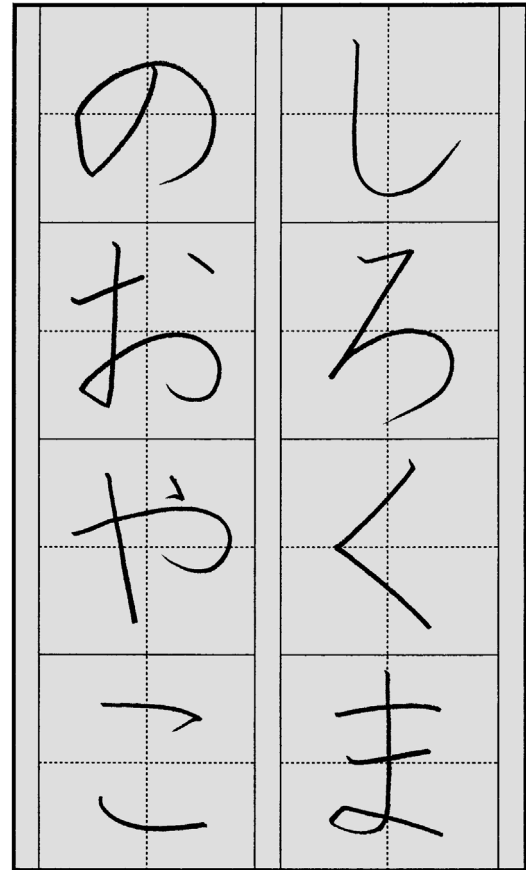


〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



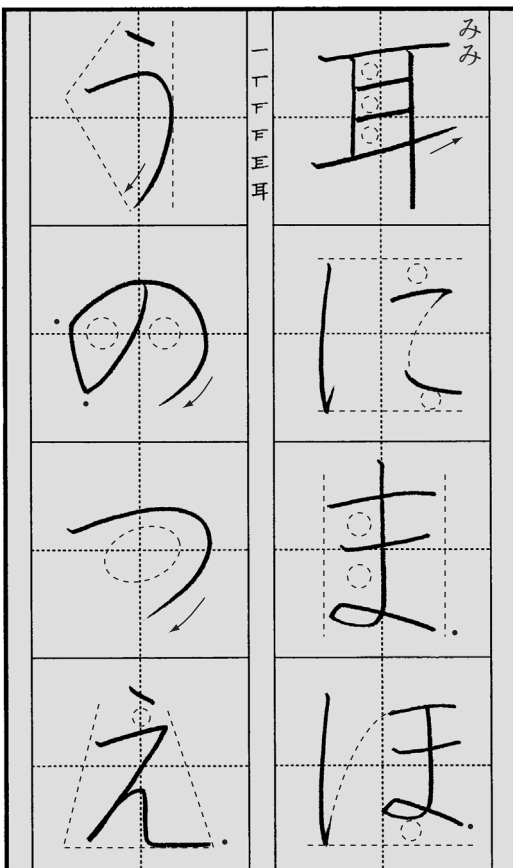
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



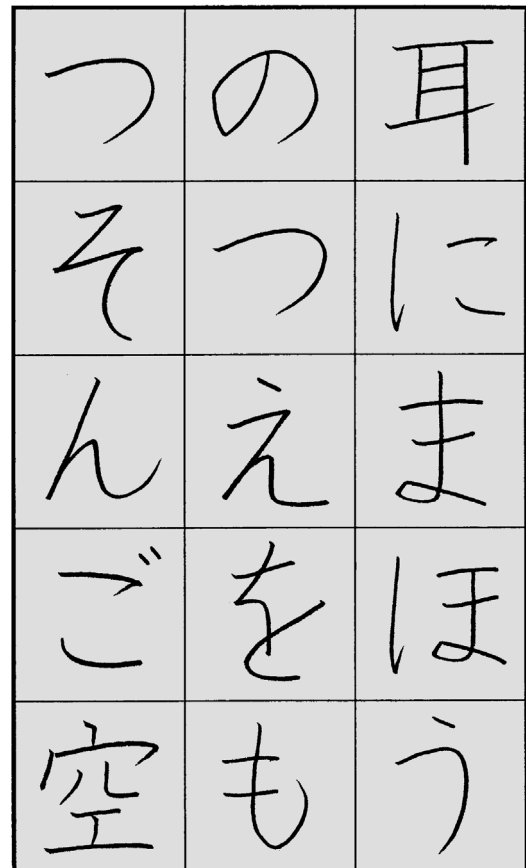
よ  
う  
年

幼年～小三年  
三宅容玉書



新入～1級

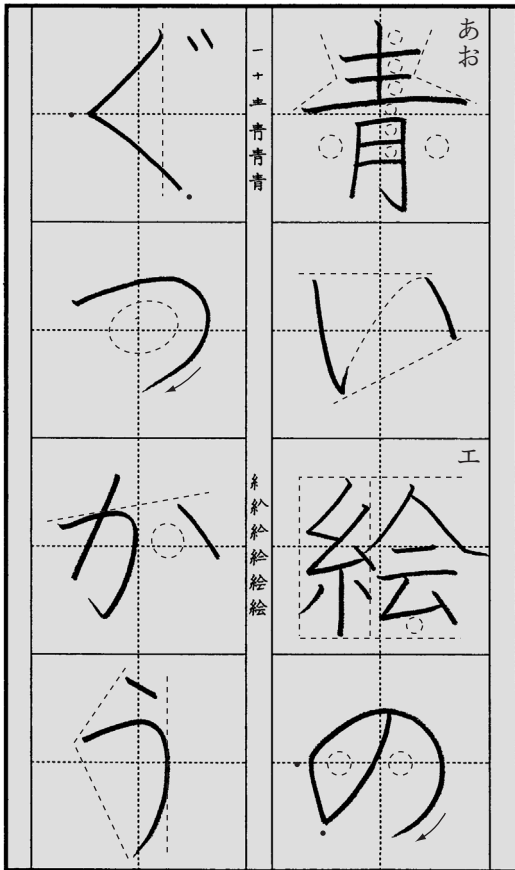
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



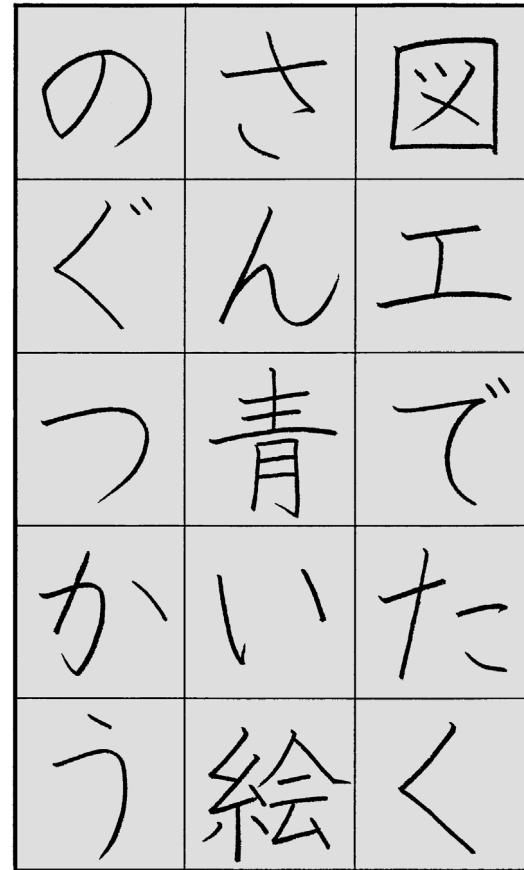
小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

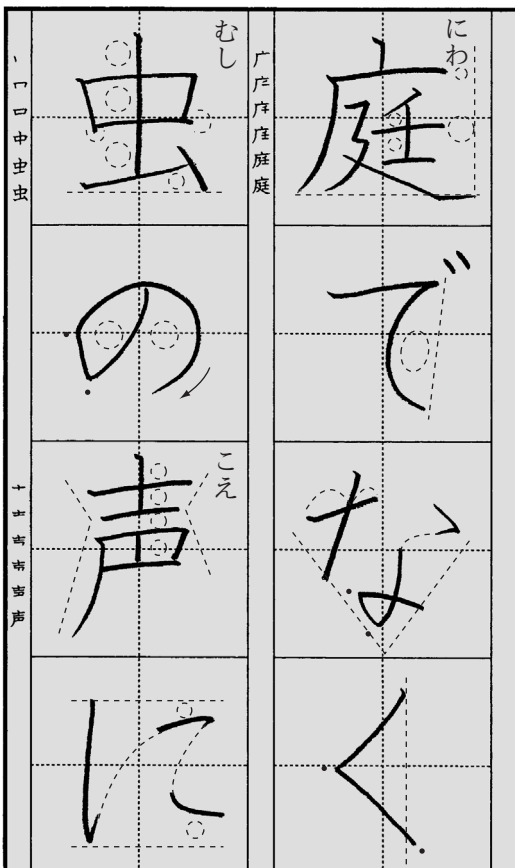


新入1級

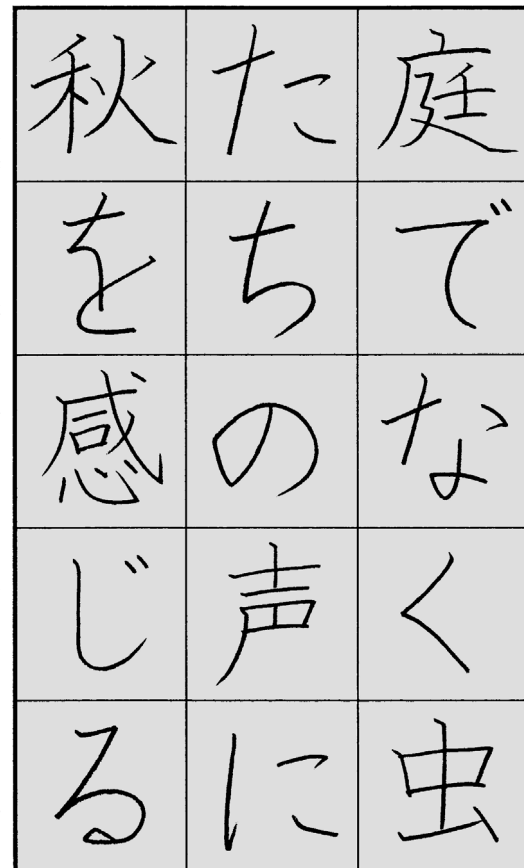


小二年

準初段以上



新入1級

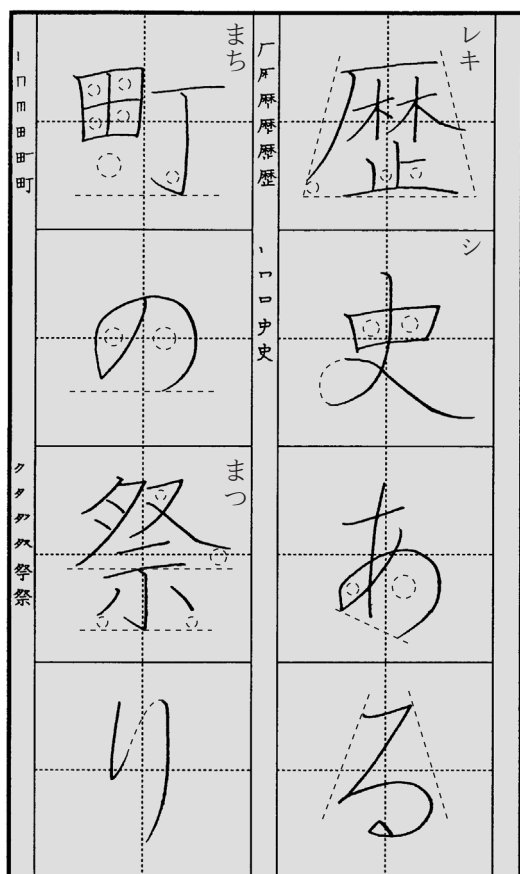


小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

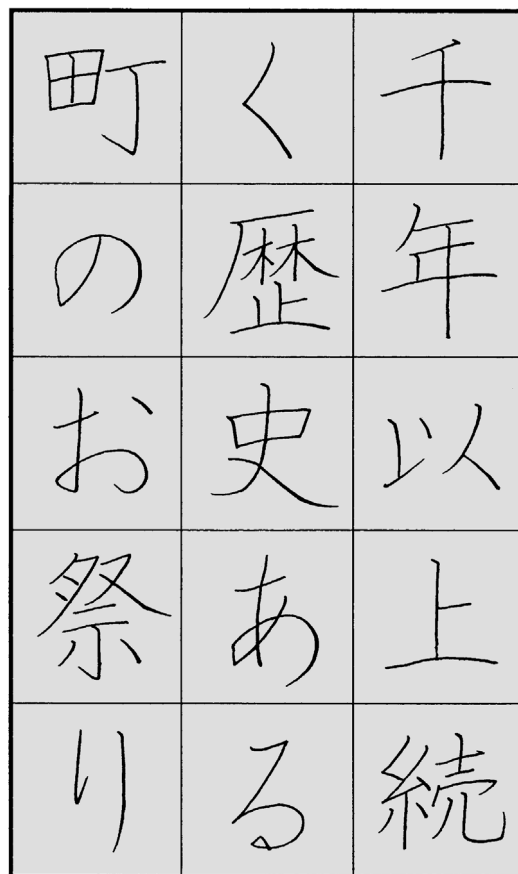
〈用具〉自由(黒色に限る)



新入1級

小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)

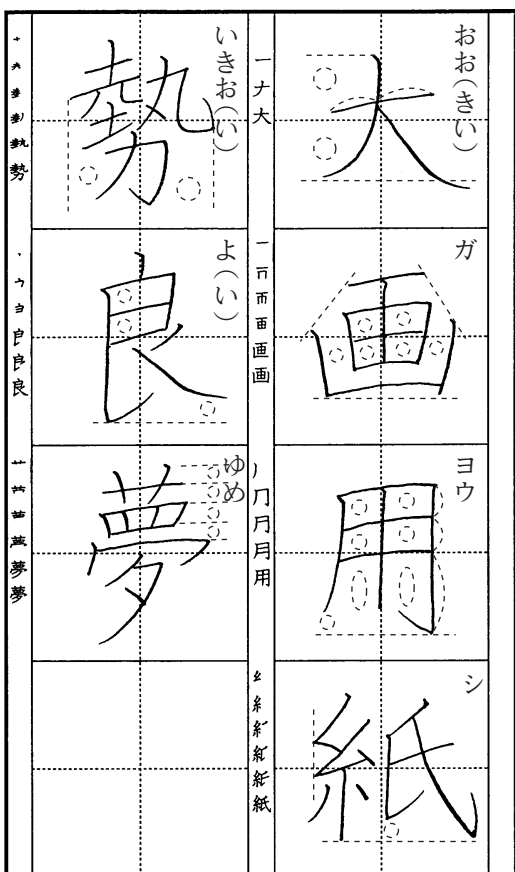
小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



小四以上 須田一葉書



〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

|   |         |   |    |
|---|---------|---|----|
| 象 | シヨウ     | 激 | ゲキ |
| 予 | ヨ       | 変 | ヘン |
| 測 | ソク      | 山 | やま |
| 難 | むずか(しい) | 気 | キ  |

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 測 | の | 激 |
| が | 気 | 変 |
| 難 | 象 | す |
| し | は | る |
| い | 予 | 山 |

小六年

(全員)

◎お手本は、つけペンで書きました。

|   |   |   |
|---|---|---|
| に | 寄 | 近 |
| 公 | り | 所 |
| 園 | と | の |
| 散 | 一 | お |
| 策 | 緒 | 年 |

中二・三年 (行書)

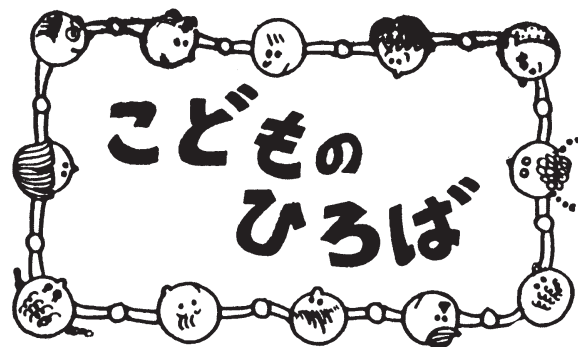
|   |   |   |
|---|---|---|
| 接 | 本 | 今 |
| 近 | 州 | 晩 |
| し | に | 台 |
| ま | 最 | 風 |
| す | も | が |

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題

ふくしまゆうこう  
福島有光 書

|   |                     |                     |                     |                     |
|---|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|   |                     |                     |                     |                     |
| と | く                   | 七 <small>なな</small> | シ                   | せ                   |
| ん | る                   | 色 <small>いろ</small> | ャ                   | っ                   |
| で | く                   | に                   | ボ                   | け                   |
| っ | る                   | 光 <small>ひか</small> | ン                   | ん                   |
| た | 回 <small>まわ</small> | っ                   | 玉 <small>たま</small> | 水 <small>すい</small> |
|   | り                   | て                   |                     | の                   |
|   |                     |                     |                     |                     |
|   |                     |                     |                     |                     |
|   |                     |                     |                     |                     |
|   |                     |                     |                     |                     |
|   |                     |                     |                     |                     |



しめきり 9月24日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

いのうえさいよう  
井上彩葉 書

|                     |                     |                     |                      |                      |
|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
|                     |                     |                     |                      |                      |
| 家 <small>か</small>  | 認 <small>にん</small> | 災 <small>さい</small> | 今 <small>いま</small>  | 防 <small>ぼう</small>  |
| 族 <small>ぞく</small> | 識 <small>しき</small> | 害 <small>がい</small> | 改 <small>あらた</small> | 災 <small>さい</small>  |
| で                   | を                   | に                   | め                    | 週 <small>しゅう</small> |
| 話 <small>はな</small> | 深 <small>ふか</small> | つ                   | て                    | 間 <small>かん</small>  |
| し                   | め                   | い                   |                      | に                    |
| 合 <small>あ</small>  | よう                  | て                   |                      | は                    |
| っ                   | と                   | の                   |                      |                      |
| た                   |                     |                     |                      |                      |
|                     |                     |                     |                      |                      |
|                     |                     |                     |                      |                      |
|                     |                     |                     |                      |                      |
|                     |                     |                     |                      |                      |

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

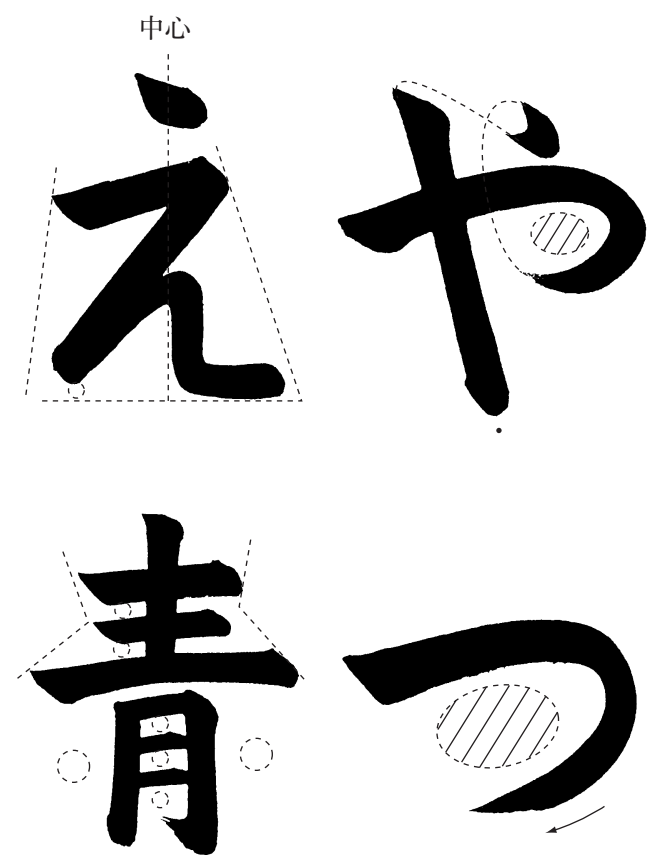
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はえんぴつ使用





幼年／小二年  
玉樹小  
華書



紙画用

小五

虫の声の

小三

画用紙

虫声祭

りお祭

小四

小三、小五年

水野香竹書

中二・三

公園  
散策

小六・中二・三年

奥村暢之書

小六

山の  
気象

中一

台風  
接近

◎行書は気脈を大切にしよう。

近

散

策

気

象

接